

【大分県】具体的な取組内容 ①（参入促進）

参入促進

1. すそ野を広げる ～多様な人材の参入促進を図る～

介護の3つの魅力(楽しさ・深さ・広さ)の情報発信によるイメージアップ

- 県内の小中高校生や生徒の保護者を対象に、介護に対する興味・関心を持ってもらうため、車いす、アイマスク体験等の福祉の入門講座を開催【基金】
- 介護体験を通じて、介護職の魅力の促進を図るため、県内の学生や社会人を対象に、夏休みを中心とした一定期間をボランティア体験月間と設定し、介護施設・事業所でのボランティア体験を実施

- 受講者数 延べ4,200人
- 受講者数 延べ1,300人

高校教師・親の理解促進、地域志向型の若者の掘り起こしの強化

- 高校生や大学生、進路指導担当者等に対し、福祉・介護の出前講座を実施【基金】

- 受講者数 480人

中高年齢者の地域ボランティア参画等の促進

その他の「参入促進」の取組

- 介護分野への人材参入を促進するため、他分野からの離職者や学生等を対象とした福祉・介護の職場体験を実施【基金】
- 福祉人材センターにキャリア支援専門員を配置し、ハローワーク等で出向き、個々の求職者にふさわしい職場へのマッチングを図る【基金】
- 県内各地で福祉・介護の就職フェアを開催し、マッチングを図る【基金】

- 年間 200人の参入促進
内訳 職場体験 50人
出張相談 30人
就職フェア 120人

※ 適宜、参考となる資料を添付してください

【大分県】具体的な取組内容 ②（労働環境の改善）

労働環境・処遇の改善

2. 道を作る ~キャリアパスを構築する~

3. 長く歩み続ける ~定着促進を図る~

代替職員の確保等による研修機会の確保

小規模事業所の協働による研修支援

- 研修等を自ら実施することが困難な小規模事業所等を対象に、複数の事業所でユニットを形成し、集合研修や職員間交流を開催【基金】

○ 事業実施ユニット数 4ユニット

エルダー・メンター制度の導入支援による早期離職の防止

事業所内保育所の運営支援による出産・育児との両立支援

雇用管理改善の推進（介護ロボット導入支援やICTの活用 等）

- 介護ロボットの導入により、介護業務の負担軽減や業務の効率化を推進し、働きやすい職場環境の構築を図る【基金】

○ 導入する介護ロボットの数 100台

その他の「労働環境・処遇の改善」の取組

- 事業所に対してアドバイザー（社労士）を派遣し、助成金や労務管理についての無料相談を実施【基金】
- 職場環境の改善を図るため、管理者向けの環境整備・改善セミナーを開催【基金】

○ アドバイザー派遣回数 36回
○ セミナー参加者数 100名

※ 適宜、参考となる資料を添付してください

【大分県】具体的な取組内容 ③（資質の向上）

資質の向上

4. 山を高くする ～継続的な質の向上を促す～

5. 標高を定める ～人材の機能分化を進める～

マネジメントや医療的ケア・認知症ケアなどの研修の受講支援

- かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者及び急性期病院の医療従者を対象に、認知症対応力向上を目的とした研修を実施【基金】
- 市町村が設置する認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員の質の向上と取組の充実を図るための研修を実施【基金】

- 大分オレンジドクター登録者数 361名→411名
認知症対応力向上研修修了者 75名→500人
- 認知症初期集中支援チームを設置する市町村数 1市→8市町村
地域支援推進員を設置する市町村数 5市→8市町村

その他の「資質の向上」の取組

- 新任の社会福祉従事職員を対象に、介護職員の仲間作りや基礎的な知識・心得を習得する研修を実施【基金】
- 地域ケア会議の充実による地域包括支援センターの機能強化を図るため、人材の派遣及び派遣する人材の育成を実施【基金】

- 受講者数 延べ250人
- 派遣する人材の育成 延べ2,400人

協議会設置

協議会の構成団体

福祉施設関係(5団体)、職能団体(1団体)、福祉系学校(3団体)、国の機関等(3団体)、県の機関(4所属)、県社会福祉協議会

平成27年度に議論を想定している議案

未定

人材育成に取り組む事業所の認証評価制度の検討状況